

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R5.8.14
担当	にぎわい創出課
グループ名	地域振興グループ
記入者名	

1 事業概要	
(1)事業名	埼玉伝統工芸会館運営費
(2)事業種別 (新規・継続)	継続
(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業
(4)第5次総振での位置づけ	(5)予算・財源等の別
①基本目標	活力ある産業のまち(産業の振興)
②大項目	観光
③中項目	
④施策	
⑤施策コード	6.3.3.0 掲載ページ 103 ページ
(6)実施根拠	(7)総合戦略
①事務分類(自治・受託)	自治事務
②根拠法令	①総合戦略 (該当事業名) 無
③事業期間	開始 不明 年 月から 終了 令和7 年 3月まで

2 事業の目的・対象及び内容	
(1)目的(何のために行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)
埼玉県内の伝統的手工芸品の魅力を発信する。特に和紙については、漉くことを手軽に体験できる施設とする。道の駅の役割として、来訪者へ休憩場所、地元農産物、特産品や情報を提供し、来訪を促進することにより農業や商工業の振興に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> ・県内20産地30品目の伝統的手工芸品を常設展示 ・工房での和紙漉き実演、和紙漉き体験により魅力を実感させ、和紙の利用を促進させる。 ・イベント開催の拠点にすることで集客を図り、地元農産物や特産品、飲食物を提供する。 ・芸術文化の発表の場として施設を提供する。
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)
・観光客(国内外) ・町民 ・事業者	町の観光拠点施設にすることにより来訪者が増加させ、和紙を中心とした伝統的手工芸品の利用の促進、農産物や特産品の販売による農業と商工業の発展、芸術文化の発表の場の提供による文化の進展に寄与する。
対象数	入館客数
単位	人
(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など	
<ul style="list-style-type: none"> ・運営開始から長期間経過した施設であるため、設備の改修が必要となっているとともに、道の駅として必要な休憩機能、情報発信機能、地域連携機能を充実した施設への改修が必要となっている。 ・収益を上げることにより指定管理料を抑制する運営体制への転換が必要となっている。 ・令和5年度から大規模改修工事に着手 	
(6)SDGsへの貢献	
	

3 事業のコスト(実績・予算・決算)		(単位:千円)					
項目	(1)事業(内容)名称	埼玉伝統工芸会館運営費					
	決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算	
(2)事業費内訳	役務費	154	122	116	116	86	
	委託料	42,000	42,500	42,800	42,800	0	
	修繕費	1,274	0	476	0	0	
	工事請負費	428	0	0	0	0	
	備品購入費	0	0	429	0	0	
	補助金	0	4,300	0	433	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	直接事業費合計	43,856	46,922	43,821	43,349	86	
	(3)財源内訳	国庫支出金	0	4,300	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0		
その他特定財源	0	0	0	0	0		
一般財源	43,856	42,622	43,821	43,349	86		
合計	43,856	46,922	43,821	43,349	86		
(4)補助金名	地方創生臨時交付金						
(5)人件費	投入職員数	0.25	0.3	0.3	0.3	0.1	
年間人件費	1,929	2,292	2,288	2,263	770		
(6)総事業費	45,785	49,214	46,109	45,612	856		
サービス量(人)	31,266	13,139	66,270	60,627	0		
サービス単価	1.5	3.7	0.7	0.8	0.0		
(単位)	千円/利用者1人当たり						

4 指標の検証(活動指標・成果指標)				埼玉伝統工芸会館運営費			
指標名				単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算
(1) 活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)							
指標名	和紙関連体験者数	目標値	人	8,000	8,000	0	
		実績値	人	12,705	15,859		
		達成率	%	158.8	198.2		
	伝統工芸会館来場者数	目標値	人	30,000	30,000	0	
		実績値	人	66,270	60,627		
		達成率	%	220.9	202.1		
(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)							
指標名	工業事業所数(総振目標指数P103) R7年度目標値 90件 ※経済構造実態調査の一部として実施、未公表	目標値	件	90	90	90	
		実績値	件	- ※	84		
		達成率	%	-	93.3		
	入込観光客数(総目標指標p106) R7年度目標値 780千人/年	目標値	千人	780	780	780	
		実績値	千人	495	699		
		達成率	%	63.5	89.6		
(3) その他指標に現れない成果							
5 事業評価							
(1) 項目別評価							
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。		
必要性	事業の必要性	3	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	3	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他(伝統的手工芸品の常設展示等の取組により、一定の成果を上げ、その役割は果たしたため。)		
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他(専門的かつ柔軟な事業展開が可能な事業者による事業実施が必要。)		
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()		
効率性	コスト効率性 人員の効率性	3	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	3	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他(再整備により、さらなる効率性が見込まれる。)		
公平性	受益者の偏り	2	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()		
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(再整備により、さらなる成果が見込まれる。)		
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()		
(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)							
道の駅再整備基本計画(令和4年2月策定、令和5年8月一部改訂)に基づき、再整備事業を進めている。運営者に関しては、道の駅の運営能力が高い民間企業を指定管理候補者として選定した。							
6 事業の方向性の判断							
				1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合			
評価主体	(1) 一次評価 (担当課長)		(2) 二次評価 (政策推進課長)		(3) 最終評価 (町長)		
評価	3		3		3		
説明	道の駅再整備事業に伴い、新たな仕組みづくりにより事業を展開していくため、本事業は廃止する。		再整備を着実に実施する。再整備後は、新たな仕組みの中で、町の観光拠点として有効に活用していく。		本事業は廃止し、再整備後は、町内外から人を呼び込む拠点として活用し、町の活性化を行っていく。		